

2020年1月20日

川西市長 越田 謙治郎 様

かわにし創生総合戦略推進会議
会 長 福 嶋 浩 彦

第2次川西市総合戦略の策定について（答申）

2019年6月10日付の諮問を受け、第2次川西市総合戦略の内容を7回にわたって審議した結果を、下記の通り答申します。

記

総合戦略の策定にあたっては、特に次の点に留意することが必要です。

- 1．かわにし市民会議では、将来の川西市のありたい姿を、無作為抽出の中から参加した多くの市民同士が熱心に議論し、提案書をまとめました。主権者であり、生活者である市民の貴重な提言です。総合戦略の策定においては、その内容を十分に踏まえることが重要です。
- 2．人口減少社会では、誰もが幸せに暮らせる持続的なまちづくりが大切です。既成概念や前例にとらわれず、市民にとって効果的な施策を創り出す必要があります。また、財政状況を踏まえると、あれもこれもではなく、本当に必要なものを適切に選択し、優先順位を明確にしなければなりません。新規事業を増やすだけでなく、既存事業の見直しや廃止が不可欠です。
- 3．地域課題の解決に行政だけで取り組むのではなく、市民、NPO や企業などと連携・協力していかなければなりません。そのためにも、まちづくりや市民にとって何が必要か、行政がしっかりと自分の頭で考え、市民に分かりやすく発信していくことが必要です。
- 4．若い夫婦の転入が多いことが川西市の大きな特長だと言えます。統計でも30歳代、0～9歳が転入超過になっています。他自治体との「若い世代の奪い合いに勝つ」といった発想ではなく、子育て中の親や小さな子どもに優しいまちは、高齢者にも障がい者にも優しいまちになるという視点が大切です。これは総合戦略の軸となるはずです。

こうした観点から見て、本日提出された第2次川西市総合戦略最終案は基本的に了解できます。その実行にあたっては上記の点を常に意識するとともに、引き続き、市民が市政運営に参画する多様な機会を設けて欲しいと考えます。

以上